

## 事業事前評価表

平成 22 年 4 月 9 日  
国際協力機構東・中央アジア部  
中央アジア・コーカサス課

**1. 案件名 (国名)**

国名：キルギス共和国

案件名：イシククリ州・チュイ州道路維持管理機材整備計画

The Project for Improvement of Equipment for Road Maintenance in Issyk-kul and Chui Oblast in Kyrgyz Republic

**2. 事業の背景と必要性****(1) 当該国における運輸・道路セクターの現状と課題**

キルギス共和国（以下同国）の運輸セクターは 95%を道路交通に依存しており、中央アジア地域ひいては南西アジア地域を結ぶ域内交通手段としてのみならず、地域住民の生活道路としても重要な機能を担っている。現在、同国には約 34,000km に及ぶ道路網が整備されており、農道や工業道路を除く約 19,000km の公道が運輸通信省(MOTC) 管轄下にある。しかし舗装率も 40%と低く、援助機関が改修した道路を除けば、都市間を結ぶ幹線道路の状態も良好とはいえない。年間約 200km の道路網が維持管理不足のために機能を失っていると推定されており、道路改修、維持管理能力向上は喫緊の課題である。

**(2) 当該国における運輸・道路セクターの開発政策における本事業の位置づけ**

2009 年-2011 年のキルギス国開発戦略(CDS:The Country Development Strategy)では 1. 経済潜在性の強化、2. ガバナンスの効率性、3. 社会志向型発展、4. 環境保全を重点分野に掲げている。運輸・道路セクターは経済潜在性の強化に含まれるが、A. 運輸インフラの適切な管理、B. 運輸インフラの利用者負担増加、等を重視している。本事業はこのうちの「A」に位置づけられる。

**(3) 運輸・道路セクターに対する我が国及び JICA の援助方針と実績**

我が国対キルギス国別援助計画では「経済成長のための基盤整備」、「社会セクターにおける支援」及び「地域内協力の促進」の 3つを重点支援分野に据えているが、「経済成長のための基盤整備」には運輸インフラの整備が含まれており、その中で道路補修用建機の供与や道路維持管理体制の強化に対する協力の必要性が謳われている。JICA でも地方幹線道路網整備プログラムを設定し、本セクターへハード・ソフト面双方からの協力を行なっている。また「地域内協力の促進」についても、2006 年 6 月に採択された「中央アジア+日本」行動計画の中で輸送分野を地域内協力の具体的な協力の柱として規定している。技術協力プロジェクト「道路維持管理能力向上」においては、道路補修計画立案・設計に係る技術協力を行なっており、これが成果を挙げつつある。

## 本セクターへの我が国の主な協力実績

- ビシュケクーオシュ道路改修計画（有償：1996）
- ビシュケクーオシュ道路改修計画(II)（有償：1998）
- ナリン州道路維持管理用機材整備計画（無償：2006）
- 道路行政アドバイザー（技協：2008）
- 道路維持管理能力向上（技協：2008）
- チュイ州橋梁架け替え計画（無償：2008）

### (4) 他の援助機関の対応

アジア開発銀行、世界銀行などが道路改修プロジェクトの一部として技術支援を計画している。また、中国輸出入銀行によりビシュケクーナリントルガルト道路を対象に道路改修計画が実施される予定。

## 3. 事業概要

### (1) 事業の目的（協力プログラムにおける位置づけを含む）

本事業はイシククリ州及びチュイ州において、道路維持管理のための機材を適切に配置し、道路維持管理体制を強化することにより、域内交通及び地域住民の交通アクセスの安定化を図り、もって地域の人的交流・物流促進及び経済社会活動の活性化に寄与するもの。

### (2) プロジェクトサイト/対象地域名：

イシククリ州（約 44 万人）及びチュイ州（約 76 万人）

### (3) 事業概要

#### 1) 土木工事、調達機器等の内容

アスファルトカッター（20）、振動コンパクタ（20）、ハンドブレーカ（20）、エアーコンプレッサー（10）、アスファルトスプレーヤー（10）、ハンドガイドローラー（10）、アスファルトフィニッシャ（2）、ロードローラ（2）、タイヤローラ（2）、散水車（2）、モーターグレーダ（2）、エクスカベータ（2）、ホイールローダ（2）、ダンプトラック（10）、アスファルトプラント（2）、骨材プラント（2）、多目的作業車（3）、スノープロウ（3）、ロータリー除雪機（3）、融雪剤散布装置（3）、クレーン付トラック（10）、トラックトレーラ（2）、移動修理車（2）

#### 2) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容

実施設計・調達管理等 ソフトコンポーネント：特になし。

### (4) 総事業費/概算協力額

総事業費 9.76 億円（概算協力額（日本側）：9.74 億円、「キ」国側：0.023 億円）

### (5) 事業実施スケジュール（協力期間）

2010 年 5 月～2011 年 8 月を予定（計 16 ヶ月。詳細設計、入札期間を含む）

(6) 事業実施体制（実施機関/カウンターパート）

MOTC

(7) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1) 環境社会配慮

① カテゴリ分類：C

② 影響と緩和・軽減策

道路維持管理のための機材整備であり、環境・社会への望ましくない影響はほとんどないと考えられる。プラント設置に係る環境関連手続きの実施は本案件実施が確定次第、MOTCが実施。

2) 貧困削減促進

物流の活性化による農産物の出荷や雇用創出を通じた貧困削減効果が期待できる。

3) ジェンダー

ジェンダー調査やジェンダー関連投入を必要としない案件

(8) 他援助機関等との連携・役割分担：特になし。

(9) その他特記事項：特になし。

#### 4. 外部条件・リスクコントロール

(1) 事業実施のための前提条件

平成22年4月7日に発生した反政府デモ隊と治安当局の衝突の結果、野党側が暫定政府を立ち上げ、半年以内の総選挙を予定しているが、政情不安はしばらく続くものと考えられる。

(2) プロジェクト全体計画達成のための外部条件

プロジェクトに必要な人員及び予算に大きな変更がない。

#### 5. 過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

○機材の稼働率を向上させるためには機材の故障を未然に防止すると共に、発生した故障を早期に修理することが重要となるため、道路建設サイトで修理対応が可能な機材が選定できるよう、仕様に反映した。

#### 6. 評価結果

以下の内容により本案件の妥当性は高く、また有効性が見込まれると判断される。

(1) 妥当性

道路網の整備は同国のPRSPにもあたるCDS（国家開発戦略）の中でも最重要課題の一つとされており、「安定した経済成長」の達成に資する案件である。2007年以降優先的に予算増額がなされている点からも先方の優先事項であることが裏付けられる。現在MOTCには道路行政アドバイザーが派遣されており、また技術協力プロジェクト「道路維持管理能力向上」も実施されているため、これら技術協力との相乗効果が期待できる。

(2) 有効性

1) 定量的効果

| 指標名                  | 基準値（2009年）                    | 目標値（2014年）【事業完成3年後】          |
|----------------------|-------------------------------|------------------------------|
| オーバーレイ<br>実施距離(km/年) | 0                             | 20<br>(イシククリ州 10、チュイ州 10)    |
| パッチング<br>実施距離(km/年)  | 210km<br>(イシククリ州 126、チュイ州 84) | 450<br>(イシククリ州 300、チュイ州 150) |

2) 定性的効果

- ①チュイ州・イシククリ州とキルギス国内の各地域を結ぶ道路状況の改善により、地域間の円滑な交通アクセスが確保される。
- ②イシククリ州の観光地域（イシククリ湖周辺）へのアクセスが改善されることから、観光業へのプラス効果が期待できる。
- ③冬季期間に住民が通行可能な時間が増えることにより、住民の生活環境が改善される。

**7. 今後の評価計画**

(1) 今後の評価に用いる主な指標

6. (2) 1) のとおり。

(2) 今後の評価のタイミング

・事後評価                      事業完成3年後

以 上